

活動報告

| | |
|------------|---|
| 団体名 | ほのぼのクラブ |
| 活動名 | 被災者の自立のための衣、食、子どもの居場所作りの活動 |
| 活動期間 | 2020/07/07～2021/04/29 |
| 活動の成果 | <p>発災当初より「人吉コミュニティー事務局にじのおと」の活動を後方より支援したことにより、主な支援先の西瀬小学校児童（6割被災）の精神的安定に繋げることができました。具体的には、衣類、文具、ランドセルなどの物資の支援。充足した分の物資のタオルは学校で使用する雑巾や、名札つき手拭きにリメイクしお渡ししました。被災した自宅を片付ける間のこどもの居場所を作り、遊び場を提供。調理ができない家庭へ手作りのお弁当とお菓子を提供しました。にじのおと代表と詳細に連絡をとりながら、今必要な物や事に絞って支援を続けました。被災が大きかった地域の小学校にしては、相談件数も少なかったと言うことで人吉球磨地域の教職員からは驚きの声を聞きました。現在も西瀬災害ステーションでは届いた物資の整理、お渡しを行い、こどもの遊び場を提供しています。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>ご寄付いただきありがとうございました。2021年5/15現在、支援先の人吉市、芦北町白石地区においては、仮設や被災家屋2階に住みながら被災した家屋のリホーム作業が進んでおります。芦北町白石地区においては、一か月間孤立状況にあった地域になり高齢者が多く住んでおられます。19世帯あった世帯が現在6世帯になり住民も寂しい思いで暮らしておられますが、一週間に1回の炊き出し支援の際は住民全員が集まりコミュニケーションの場となっております。暮れの餅つきでは大変よろこばれました。コロナ禍により今後も炊き出しの自粛も予想されますが、被災した全世帯での1階部分の改築工事が終わり調理できる日までは炊き出し支援を続けてまいります。人吉地域では、こどもの居場所作りを行い、こどもの精神的安定に繋げることができました。何度も足を運ぶことができたのもご寄付いただいた皆様のおかげです。コロナ禍で人手も足りないところですが、復興まで人吉の子ども達へ寄り添っていきたいと思っています。</p> |

(活動のようす)

